

水力発電使い エコな明かり

高尾野・本町ため池公園

出水市高尾野の本町ため池公園にマイクロ水力発電装置が設置され25日、点灯式があった。市と鹿児島大学、広島県のポンプメーカーによる産官学連携事業で、県内では鹿児島市下田町に続き2カ所目。公園内の街灯やイルミネーションに使用

される。発電装置はポンプ内を流れる毎秒約470リットルの水で水車を回し、モーターで発電する。出力は最大200ワットと小さいが、天候に左右されず24時間発電できる。総事業費は351万円。装置は縦横、高さともに約1メートルとコンパクトで中山間地域でも利用しやすいという。点灯式には、関係者や近くの児童ら約150人が参加。発光ダイオード(LED)を使った街灯や1千球のイルミネーションがともると、歓声が上がった。渋谷俊彦市長は「自然再生可能エネルギーへの理解や関心が高まる

場所になれば」と話した。イルミネーションは来年1月3日まで点灯される。(二石茂行)



水路近くに設置されたマイクロ水力
発電装置
＝出水市高尾野